

事業者向 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名: コロロ横浜アトラス

2024年(令和6年)1月実施

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など	評価を踏まえた 改善内容・改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	0	・広いとは言えませんが、工夫をしながら活動をしています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	6	1	0		
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	0	0	・教室内に段差はないが、日頃から動線には気を付け、物を置く位置などには配慮している。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	0	・管理者、役職者だけでなく、若手の職員にも、検討会に参加している。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0		
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	7	・今のところ、第三者評価は取り入れていない。	
適切な 支援の 提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	・定期的に研修をするとともに、問題があったときは検討会を開き、検証、意見交換をしている。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	・保護者からのニーズはもちろん、いま必要な力を引き出し育てるプログラムを立てて、こちらから保護者に提示している。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	0	・療育理論のベースはコロロメソッドで行っているため、スタッフの意識統一、技術の均一化は概ね図れている。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	・その日利用する、児童のメンバーに応じて、プログラム内容は、チームで検討し、立案している。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	・自閉症特有のこだわり行動を崩し、適応行動が取れるようにプログラムし、活動しています。 ・コロナ禍が明け、郊外活動が出来るようになり、電車に乗っての活動も出来るようになった。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	0	・土日は長距離歩行を行い行動リズムを整えることを中心に、平日は机上学習や手作業課題を取り組むなど、それぞれにプログラムの特徴がある。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	・集団行動の中で個別ニーズに対応をすることで、個々の発達を促している。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	・その日のリーダーとなるスタッフの号令で打合せをしている。その中で、製作リーダーやリズムリーダーなどの役割を事前に決めて活動をしている。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0		
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0		
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	0		
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	1	0	・自立・日常生活動作獲得への支援、創作活動、余暇、学習は、実施できているが、地域交流の機会がないのが現状。		

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など	評価を踏まえた 改善内容・改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0		
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	2	0	・利用者さんから学校年間計画を頂いていますが、当事業所は送迎サービスはしていませんので、こちらの情報をご連絡する機会がありません。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	3	・特別な医療的ケアが必要な児童はいませんが、てんかん発作のある児童の場合、発作時は、保護者に連絡し、指示を仰ぐ手はずになっている。	
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	1	5	・これまで園や事業所さんから連絡を頂いたことはなく、お子さんの情報は面接時に保護者から直接うかがっています。	
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	0	7	・問い合わせや相談がある場合は、情報提供をしますが、これまで連絡を頂いたことがありません。	
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	1	6		
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	1	・ダイナミックリズムを開催し、コロロの幼稚園生や参加者のご兄弟など、障害があるなしにかかわらず、一つの行事にみんなで参加をする機会が年間に4回ほどあります。	
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	0	0	・協議会に加入し、毎回参加をしています。地域の情報が分かり、勉強になっています。現児発管だけでなく、他の職員にも参加をしてもらえるよう機会を作っています。	
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	・あえて送迎サービスは行わず、行帰りに親御さんとやり取りを大切にしています。近況や現在の問題行動や困りごとが保護者から直接伺えます。それを基に、その日のプログラムを変更して対応することもあり、問題意識は共通していると感じています。	
保護者への説明責任等	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	0	0	・歩行のさせ方、対応のコツなどは言葉の説明するだけでなく、実際に一緒に練習をするなどしてお伝えをすることで、お母さんとできる、家庭でできることを目指しています。	
	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0		
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	・お母さんからの質問や相談は、連絡帳や送迎時の立ち話、またメールや電話でお話しするなど、出来るだけ早く対応している。	
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	0	・お話が合いそうな保護者同士をつなげることはありますが、放課後等デイサービスに父母の会の活動を支援することはありません。わたくしたちが求められているとも思えません。	今後も保護者勉強会は積極的に開催をし、保護者同士のつながりの場を設けていきます。
	㉓ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	・苦情等があった場合は、すぐに役職者に報告し、早期に対処するよう努めている。日誌に記入するとともに、報告書を作成し、スタッフ全員で内容を共有するようにしている。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、 工夫している点など	評価を踏まえた 改善内容・改善目標
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	・毎月おたよりを発行し、活動内容をお知らせしています。 ・子どもたちの製作物を教室に貼り出すなど活動内容を見ていただけるようにしています。	長期休みがある月のスケジュールを早めに公表して、ご家庭での計画を立てやすいように配慮します。
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	7	0	0	・年賀状の張り出しには住所を伏せるなど、掲示物にも配慮をしている。 ・資源ゴミに出す紙には、名前や個人と特定できるものはないかチェックを出しており、それ以外はシュレッダーにかけている。	
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	・自分から適切に発信ができないお子さんも多いことから、表情、仕草などの観察は怠らないようにしています。 ・保護者とは、連絡帳と送迎時の立ち話、メールなどを使い、いつでも連絡を取り合う体制を設けています。	
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	5	・デイの活動では、地域の方を招くような行事を開催したことがないですが、子どもたちみんなであいさつをすることで、マンションの皆様とはあいさつの交流は強くなったと思います。	
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0		春先に行う個別面接時だけでなく、運営規程や各種マニュアルが設置してある棚を周知して、随時見ていただけるようにします。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	・半年に一度避難訓練を開催するだけでなく、この場所がハザードマップ上にあることも周知したり、大雨、暴風域時の開催基準なども明確にして、お知らせするようにした。	
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	・本部の実施する、人権研修等に参加している。	
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1	0	・日頃から身体拘束をすることなく、活動ができるように、療育技術を高める努力をしている。 ・身体拘束が必要なお子さんがいません。	
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0	・アレルギーのある児童については保護者からの指示により対応している。昼食はすべて家庭で用意していただいている。	
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	・全員で回覧し、情報共有している。	